第50回運転・保守分科会議事録

1. **日　時**：2022年12月22日（木）13：10～15：40

2. **場　所**：一般社団法人　日本電気協会　4階　A，B会議室（Web併用会議）

3. **出席者**：（敬称略，順不同）

出 席 委 員：出町分科会長(東京大学)，永田幹事(日本原子力発電)，小倉(ｳﾂｴﾊﾞﾙﾌﾞｻｰﾋﾞｽ)*1，
野上(日立GEﾆｭｰｸﾘｱ･ｴﾅｼﾞｰ)*1，日隈（東芝ｴﾈﾙｷﾞｰｼｽﾃﾑｽﾞ），飯塚(東北電力)*1，
鈴木直(中部電力)，松崎(九州電力)*1，松澤(東京電力HD)*1，森脇(中国電力)，山崎(電源開発)，
浜田(日本原燃)*1，桐本(電力中央研究所)*1，堀(日本原子力研究開発機構*1，
木倉(東京工業大学)*1, 2，鈴木正(中京大学)*1，渡辺(福井大学)，井口(発電設備技術検査協会)*1，
伊藤邦(日本ｴﾇ･ｴｰ･ｴｽ)，高岡(日本通運)*1，仲井(元日本原子力研究開発機構)，
永山(原子力安全ｼｽﾃﾑ研究所)，野村(原子力発電訓練ｾﾝﾀｰ)*1　（計22名）

代 理 出 席 者：川越(関西電力，尾高委員代理)，西原(四国電力，中村委員代理)*1，
田淵(北海道電力，藤田委員代理)*1　（計3名）

欠 席 委 員：松澤(三菱重工業)，水門(北陸電力)，近澤(日本原子力研究開発機構)，糸井(東京大学)，
内一(東北大学)，高橋(東北大学)，坂元(原子力安全推進協会)，
長谷川(BWR運転訓点ｾﾝﾀｰ)　（計 7名）

説　明　者：運転管理検討会　鈴木副主査(東京電力HD)*1
緊急時対策指針検討会　斉藤主査(北陸電力)*1
保守管理検討会　関主査(九州電力)*1
防火管理検討会　牛島主査(関西電力)*1
JEAG4803方針検討タスク　永田主査(日本原子力発電)　（計5名）

常 時 参 加 者：なし　（計 0名）

オ ブ ザ ー バ：なし　（計 0名）

事　務　局：葛西，景浦(日本電気協会)　（計2名）

＊1：Web参加，＊2：議題6まで出席

4. **配付資料**：別紙参照

5. **議　事**

事務局から，本会にて，私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触するおそれのある活動を行わないことを確認の後，今回はWeb併用会議で実施することを説明後，議事が進められた。

(1) **代理出席者，常時参加者，説明者，オブザーバの承認，定足数確認，配布資料確認等**

事務局より，配布資料の確認の後，代理出席者3名の紹介があり，分科会規約第7条（委員の代理者）に基づき，分科会長の承認を得た。出席者は代理出席者も含めて25名であり，分科会規約第10条（会議）

第１項の開催条件の委員総数の３分の２以上の出席を満たしているとの報告があった。その後説明者５名の紹介があった。

引き続き，事務局より資料 No.50(1)-参考に基づいて，運転・保守分科会分科会長の単記無記名投票結果において，出町分科会長が選任され，永田委員が分科会用より幹事に指名されたとの紹介があった。

⑵　委員候補について（審議）

1）分科会委員の変更について

事務局より，資料 No.50(1)-1 に基づき，下記新委員の紹介がありその後，新委員より挨拶があった。

・新委員　鈴木　委員（中京大学）

2）検討会委員の変更について

事務局より，資料 No.50(2)-1-①から資料 No.50(2)-1-④に基づき，下記検討会委員の変更について紹介があった。分科会規約第 13 条（検討会）第４項に基づき，検討会委員の変更について分科会規約第 12 条（決議）第４項に基づき決議の結果，特にコメントはなく，５分の４以上の賛成で承認された。

【運転管理検討会】

・委員退任　阿部　委員（東北電力）　　・委員候補　佐々木　氏（同左）
・委員退任　市川　委員（電源開発）　　・委員候補　君和田　氏（同左）
・委員退任　野地　委員（BWR 運転訓練ｾﾝﾀｰ）　　・委員候補　加藤　氏（同左）

【緊急時対策指針検討会】

・委員退任　井門　委員（四国電力）　　・委員候補　三島　氏（同左）

【保守管理検討会】

・委員退任　齊藤　委員（電源開発）　　・委員候補　片桐　氏（同左）

【防火管理検討会】

・委員退任　家城　委員（東京電力 HD）　　・委員候補　永田　氏（同左）

3）運転保守指針（仮）委員について（決議）

事務局より，資料 No.50(2)-2 及びか資料 No.50(2)-2-参考に基づき，運転保守指針（仮）委員について説明があった。

新しい検討会の名称を運転保守指針検討会とすること及び委員候補について決議の結果，特にコメントはなく承認された。

主な説明・意見・コメントは以下のとおり。

・　第 44 回 運転・保守分科会にて運転保守指針検討会は廃止が可決され，第 49 回 運転・保守分科会にて JEAG4803-1999 を廃止する方針は決められたが，規約における廃止手続きをしていないため，新しい検討会でその手続きを進め，原子力規格委員会に上程する必要がある。
・　新検討会設置について書面審議を運転・保守分科会で実施し，投票総数 31 票でこの内訳が賛成 30 票，保留１票ということで可決となっている。
・　書面審議での意見を３つ頂いており，意見者には対応案で良いか確認し，了承を得ている。

→ 書面審議では保留を投じたが，本日の説明を踏まえて賛成ということにしたい。

・ 書面審議の可決に従い，新しい検討会の委員について推薦を頂いており，推薦された委員名簿案が資料No.50(2)-2 であり，委員候補は 13 名いる。

・ また，新しい検討会名称は「運転保守指針検討会」で良いか本日審議頂きたい。新しい検討会が分科会の方針に従って廃止を検討することになるが，その検討結果として JEAG4803-1999 は必要な規格であることが分かり，必ずしも規格廃止として上程されない事も考えられることから，検討会名称に廃止は用いない。

・ 資料 No.50(2)-2 の新しい検討会委員候補名簿及び新しい検討会名称の運転保守指針検討会ということに対してこれで良いかについて決議を取りたいと考える。

→ 資料 No.50(2)-2 の No.2 の役職についてスタッフ課長となっているが専任課長となっているので修正をお願いする。

○ No.50(2)-2 の No.2 の役職を修正の上で，新しい検討会の名称及び委員候補について，分科会規約第 9 条（決議）第 4 項に基づき決議の結果，特にコメントはなく，全員の賛成で承認された。

(3) 前回議事録確認

事務局より，資料 No.50(3)に基づき，前回議事録（案）の紹介があり，正式議事録とすることについて特にコメントは無く，5 分の 4 以上の賛成で承認された。

また，事務局より資料 No.50-(3)-参考 1 及び資料 No.50-(3)-参考 2 に基づき，第 83 回原子力規格委員会議事録（案）及び学協会規格の運用合理化について紹介があった。

主な意見・コメントは以下のとおり。

・ 特になし。

(4) JEAC4805「原子力発電所運転責任者の判定に係るシミュレータ規程」発刊について

事務局より，資料 No.50(4)及び資料 No.50(4)-参考に基づき，JEAC4805「原子力発電所運転責任者の判定に係るシミュレータ規程」発刊について説明があった。

主な説明・意見・コメントは以下のとおり。

・ JEAC4805 について 11 月 30 日に発刊され，原子力規格委員会のホームページに掲載されている。

→ 発刊に携わって頂いた委員の皆様に謝辞が述べられた。

・ 原子力規格委員会のホームページの「2.適用範囲」は，発刊規格と整合しているか確認のこと。

→ 「2.適用範囲，関連法規・規格」が正しいため，分科会後に速やかに整合させる。

(5) JEAG4802「原子力発電所運転員の教育・訓練指針」発刊について

事務局より，資料 No.50(5)シリーズに基づき，JEAG4802「原子力発電所運転員の教育・訓練指針」発刊について説明があった。

主な説明・意見・コメントは以下のとおり。

・ JEAG4802 についても 11 月 30 日に発刊され，原子力規格委員会のホームページに掲載されている。

→ 発刊に携わって頂いた委員の皆様に謝辞が述べられた。

⑹ 分科会タスク（JEAG4803 方針検討タスク）事項について（審議）

JEAG4803 方針検討タスク 永田幹事より，資料 No.50⑹シリーズに基づき，分科会タスク（JEAG4803 方針検討タスク）事項について説明があった。

JEAG4803 方針検討タスクの報告について，運転・保守分科会として承認するかについて決議の結果，承認された。

主な説明は以下のとおり。

・ 本タスクとして JEAG4803-1999 は廃止の方向と分科会に提案し，運転・保守分科会で廃止の方向ということで承認されたのを受けて，タスクとしては３つの提案を実施したいと考える。
・ 提案１としては，規格廃止については規約に基づく廃止が必要となってくるため，その対応を行う依頼先として新しい検討会を設置する。これは議題２で審議があったとおり設置済。
・ 提案２としては，新しく設置する検討会で検討会原案を作成する。運転・保守分科会としては，検討会原案を踏まえて，JEAG4803-1999 の廃止を審議して決定して頂きたい。分科会では技術資料とするかも含めて審議する。
・ 提案３としては，ASME の O&M の動向，最新知見については本タスクのミッション外と考えているが，ASME の O&M の動向確認は第 44 回 運転・保守分科会で廃止された旧運転保守指針検討会で確認されてきたが，その検討会は廃止されており，そういったことを今後の分科会で議論していくことが望ましいとと思っている。
・ 以上の３つの提案を含めて，最終的な報告書として審議，承認をお願いしたい。
・ 資料 No.50⑹-2-②が本タスクの最終的な報告書となっており，資料 No.50⑹-3 が本タスクでの進めてきた実績，スケジュールであり，本日報告書が承認された場合には JEAG4803 方針検討タスクについては本日をもって解散する。提案内容を含む報告書，JEAG4803 方針検討タスクの解散について審議をお願いする。

主なご意見・コメントは以下のとおり。

・ 特になし。

○ 特に意見・コメントがなかったので，JEAG4803 方針検討タスク報告を承認すること及び JEAG4803 方針検討タスクを解散することについて，分科会規約第 12 条（決議）第４項に基づき，挙手により決議の結果，５分の４以上の賛成で承認された。

⑺ 運転・保守分科会の 2023 年度活動計画について（審議）

各検討会より，資料 No.50⑺シリーズに基づき，運転・保守分科会の 2023 年度活動計画について説明があった。

2023 年度活動計画を資料 No.50⑺-1 及び No.50⑺-2 により報告するかについて決議の結果，承認され

た。

主なご意見・コメントは以下のとおり。

・ 原子力委員会に提出する時には，見え消しになっているものは消して出すのか，それともそのまま出すのか。

→ 書き方について各分科会で統一はされていない。昨年の運転・保守分科会からは，過去情報が見え消しの方が議論しやすい旨の説明をして，各分科会が議論しやすい様であれば統一を図らないとされたため，今年も同じく見え消しの形で本日審議頂くものであり，分科会で承認されればこのままの形で上程する。

・ 2020 年 10 月に原子力災害対策指針の一部が改正されたことの記載は残すのか。

→ 2020 年の PWR 特重による EAL 見直しが最新の改正で，これを切っ掛けとしてどんどんと発展して，今も EAL 見直し検討が事業者と原子力規制庁との間で進められて，ずっと続いているのが実態であり，2020 年 10 月原子力災害対策指針の一部改正の延長線ということで，この記載で良いと考えている。

・ JEAG4803 の 2023 年度の活動計画の所で，分科会への上程時期が 2023 年度下期頃となっているが，1 年で上程は難しいのではないか。順調に進められたとしても中間報告のような気がする。そういう意味でここは少し変えてはどうか。

→ 具体的には中間報告にするか，2024 年度にしてしまうことだと思うため，2024 年にする。

・ 2023 年度活動計画について他に意見があれば，分科会後であっても受付けるため事務局宛にメールのこと。

・ 資料 50(7)-3 の JEAC4111 の位置付けについては，運転・保守分科会だけでクローズさせず，本資料に対しても各委員からの意見をメールでお願いしつつ，基本方針策定タスクに上げて，品質保証分科会も含めた他の分科会との調整を永田幹事にお願いする。

・ 2023 年度計画について，原子力規格委員会に資料 No.50(7)-1 及び資料 No.50(7)-2 で上程するかについて決議を取りたいと考える。

○ JEAG4803 の分科会への上程時期は 2024 年度下期頃に修正し，他に特に意見・コメントがなかったため，2023 年度活動計画を No.50(7)-1 及び No.50(7)-2 により，原子力委員会に上程するかについて，分科会規約第 12 条（決議）第 4 項に基づき決議の結果，5 分の 4 以上の賛成で承認された。

⑻ 令和 4 年度功労賞推薦について（報告）

分科会長より，資料 No.50(8)シリーズに基づき，令和 4 年度功労賞推薦について報告があった。

主な報告は以下のとおり。

・ 2022 年度も皆ご多忙の中，運転・保守分科会のために尽力いただいた事に御礼申し上げる。それぞれ個々人にて尽力いただいた中でも，1 人の方を功労賞として推薦することができるため，令和 4 年度原子力規格委員会功労賞に関して，分科幹事と事務局で相談し，運転・保守分科会からは，防火管理検討会の前主査である，東京電力 HD の家城委員を推薦することにした。

主なご意見・コメントは以下のとおり。

・ 特になし。

⑼　基本方針策定タスク案件（報告，依頼）

事務局より，資料No.50(9)-1及び資料No.50(9)-2に基づき，基本方針策定タスク案件について，報告及び依頼があった。

1）原子力規格委員会シンポジウム

主なご意見・コメントは以下のとおり。

・　規格の整理統合についての考え方みたいなことは，今後の議論で深まっていくのだと思う。

・　このタイミングで運転・保守分科会からシンポジウムで議論して頂きたいテーマはあるか。また，いつ頃迄に基本方針策定タスクに上げる必要があるのか。

→ 2023年の12月に決定して2024年の6月開催とすると，１年後に決定されるとしても3月度の基本方針策定タスクに投げて議論を始める必要があると思われる。

・　前回のシンポジウムを見ても，資料50(9)-1の4ページにある「新型炉／小型炉の導入」について，機械学会と原子力学会は前向きなスタンスで，電気協会は「設計が固まってから」のスタンスで何も動かないと宣言された印象だった。新しい炉に対して何か対応する準備とか，そうゆう様な所に対してスタートする方針はないのか。

→ 運転・保守分科会としてでなく，電気協会の原子力規格委員会全体としては，今はまだ研究の段階にある状態に対して「設計が固まってから」と一般論として述べたのだと思われる。

→ パッケージ化されたことがありきの考え方になってしまっていると考えられるが，何かを始めるにしても先ずは，そのメリット／デメリットを評価してからになると考えられる。

→ パッケージ化は，元々は広い概念を含んでいる様なものに対して，それを組み合わせればどんなものに対しても使える様にするイメージだと適用されると思う。一方，電気協会の規格で使っているある点にだけフォーカスした様な考え方になっていて，パッケージ化で新しい炉を設置するのは非常に難しい気がしている。

→ 現行の規格の統廃合，パッケージ化が難しいのに，それに加えて新型炉への適用の二段階で難しさがあると感じる。

・　原子力規格委員会のシンポジウムには核セキュリティも扱っているのか。新検査制度にも入っている。

・　今後，運転・保守分科会からシンポジウムで議論して頂きたいテーマ等あれば事務局に連絡願う。

2）委員倫理の充実

主なご意見・コメントは以下のとおり。

・　このアイデア出しにおいて組織名は必要か，無記名でも良いのではないか。

→ 好ましい事例は現行のテキストでも分科会名が記載されている。原子力規格委員会の中では委員倫理に反する事例はなかったと思うため，好ましくない事例を探す方が難しいとも思われるが，好ましくない事例であれば個体名が特定できない配所が必要であると思われる。

・　原子力学会の倫理委員会では，原子力に限らず色々な産業分野の良好事例とか，よろしくない事例，ニュースとかで見たとかでは実際にインタビューなんかもして，報告をまとめてる。このアイデア募集も原子外のものも受付けるのか。

→ 今回の募集においては何も制限がないと思われるため，委員倫理の向上のためであれば良いと考えてい

る。学協会ピアレビューした結果からも，原子力学会は良好事例を持っていたが，そこに追従できる／追従できないとかではなく参考にしたり，各々の組織で実行するのか，一緒に参加して行うのかとか，そうゆうアイデアでも良いと考えている。

・ 各協会・学会で個別対応しても全学協会で考えるとマンパワーのロスであり，協力できるところは情報共有をするのが良いと，口頭で挙げさせていただく。

→ 拝承，受付する。

(10) その他

次回の６月の原子力規格委員会の前に功労賞の表彰があるため，原子力規格委員会がおそらく午後に開催されるため，運転・保守分科会の開催は同日の午前ということで，日程確定後に各委員に連絡する。

以　上

第 50 回運転・保守分科会配付資料

別　紙

資料 No.50(1)-1	原子力規格委員会 運転・保守分科会委員名簿
資料 No.50(1)-2	原子力規格委員会 運転・保守分科会委員名簿（日程調整）
資料 No.50(1)-参考	運転・保守分科会委員の推薦する運転・保守分科会長候補者に関する単記無記名投票のお願い
資料 No.50(2)-1-①	原子力規格委員会 運転・保守分科会　運転管理検討会名簿（案）
資料 No.50(2)--1②	原子力規格委員会 運転・保守分科会　緊急時対策指針検討会名簿（案）
資料 No.50(2)-1-③	原子力規格委員会 運転・保守分科会　保守管理検討会名簿（案）
資料 No.50(2)-1-④	原子力規格委員会 運転・保守分科会　防火管理検討会名簿（案）
資料 No.50(2)-1-参考	運転・保守分科会検討会委員に関する書面審議のお願い
資料 No.50(2)-2	原子力規格委員会　運転・保守分科会　運転保守指針検討会（仮）委員名簿（案）
資料 No.50(2)-2-参考	「JEAG4803-1999 軽水型原子力発電所の運転保守指針」廃止のための検討会の設置に関する書面審議のお願い
資料 No.50(3)	第 49 回運転・保守分科会議事録（案）
資料 No.50(3)-参考 1	第 83 回原子力規格委員会 議事録（案）
資料 No.50(3)-参考 2	学協会規格の運用合理化に向けた電気事業者からの提案について
資料 No.50(4)	JEAC4805-2022 発刊について（原子力規格委員会ホームページより）
資料 No.50(4)-参考	JEAC4805-2022 発刊準備における編集上の修正
資料 No.50(5)	JEAG4802-2022 発刊について（原子力規格委員会ホームページより）
資料 No.50(5)-参考 1	JEAG4802-2022 発刊準備における編集上の修正（初校）
資料 No.50(5)-参考 2	JEAG4802-2022 発刊準備における編集上の修正（二校）
資料 No.50(6)-1	原子力規格委員会 運転・保守分科会　JEAG4803 方針検討タスク　委員名簿
資料 No.50(6)-2-①	JEAG4803-1999 軽水型原子力発電所の運転保守指針の扱いについて
資料 No.50(6)-2-②	「JEAG4803-1999 軽水型原子力発電所の運転保守指針」の扱いについて
資料 No.50(6)-3	「JEAG4803-1999 軽水型原子力発電所の運転保守指針」の扱いについて
資料 No.50(7)-1	JEAG4803 方針検討タスクの進め方、スケジュール等について（改訂 2）
資料 No.50(7)-2	2023 年度 各分野の規格策定活動
資料 No.50(7)-3	JEAC4111 に関する各委員から頂いた意見等
資料 No.50(8)-1	令和４年度 原子力規格委員会功労賞 表彰者の推薦申請について（ご依頼）
資料 No.50(8)-2	令和４年度 原子力規格委員会功労賞 申請・選考スケジュール
資料 No.50(8)-3	原子力規格委員会 功労賞 推薦申請書
資料 No.50(9)-1	第 8 回 日本電気協会 原子力規格委員会 シンポジウム結果について 次回のシンポジウムに向けた検討について（案）
資料 No.50(9)-2	日本電気協会 原子力規格委員会 「委員倫理」の充実に向けたアイデアの募集について（案）